

(単元) 随筆(一)(「丹波に出雲といふ所あり」)

(本時のねらい)

生徒はこれまで古典文法の学習を中心にしてきたが, 作品の内容に関して深く考える機会を持つことがあまりできなかった。本単元の「丹波に出雲といふ所あり」は随筆であり, 作品の内容も既習の作品に比べると難解である。学習したプリントの現代語訳を使って場面の展開を確認しながら, 作品の内容をしっかりと考えさせたい。

(ICT活用方法)

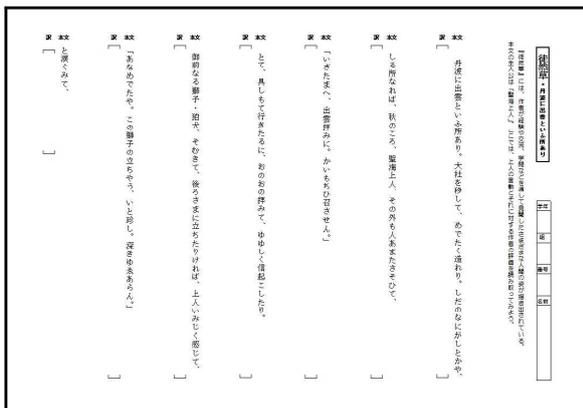
教材の構成や内容を考え, グループで話し合いながら4コマ漫画にする。タブレットPCのカメラ機能を使ってグループごとに4コマ漫画を撮影させ, 電子黒板を使った発表をする。それぞれの場面の状況や漫画を場面ごとに選び, 登場人物の心情を最も適切にとらえられている4コマ漫画を完成させ, 作品の内容を適切にとらえることの大切さを実感させる。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法	備考
導入 5分	・前時を振り返り, 本時の活動を知る。	・本時の活動について説明する。	・電子黒板でスライドを見せながら, 前時までの内容を確認させ, 宿題の4コマ漫画を班ごとに発表することを伝える。	
展開 40分	<b>1 前半の内容を班ごとに話し合う。</b> 前時に考えた内容を出し合い, 班ごとに4コマ漫画を選んで, 説明を考える。	・宿題の4コマ漫画を班ごとに見せ合い, 本文の内容に合ったものを選びさせる。 ・4コマ漫画の説明を考えさせ, 登場人物の心情とその場面の状況をしっかりと理解させる。	・グループの中で本文の内容を最も適切にとらえられている漫画を場面ごとに選び, PCのタブレット内のカメラを使ってグループごとに4コマ漫画を撮影させる。 ・撮影した画像を共有フォルダ内に保存する。	※理解が難しい生徒のために, 班ごとで協力して考えさせたり, 机間指導の際にヒントを与えたりする。
	<b>2 4コマ漫画を班ごとに発表する。</b> ・各班毎に1	・発表者に4コマ漫画を電子黒板を使って発表させ, 本文の内容を	・撮影した画像を電子黒板に映しながら, 電子黒板を使って発表させ, 登場人物の心情とその場面の状況を説明させる。	

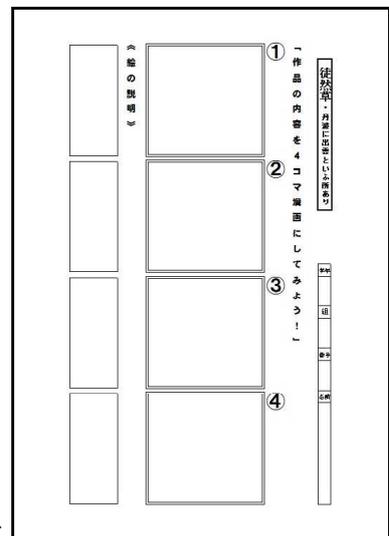
<p>コマずつ4コマ漫画を発表し、登場人物の心情とその場面について電子黒板を使って説明する。</p> <p><b>3 本時の感想を書く。</b> (主人公の心情と場面の状況を十分に理解した上で、作品の感想を書く。)</p>	<p>説明させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての発表が終わったら、完成した4コマ漫画をつなげて、補足説明をする。</li> <li>完成した4コマ漫画を見て、その内容を考えさせ、作品の感想をワークシートに書かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面をとらえられている漫画の画像を電子黒板に投影しながら生徒に選ばせ、それをつないで、4コマ漫画を完成させる。</li> <li>完成した4コマ漫画を生徒と見ながら、補足説明を行う。</li> <li>完成した前半・後半の4コマ漫画を見て、登場人物の心情や場面の状況を考えさせ、作品の感想をワークシートに書かせる。(優れた感想を書いた者がいれば、タブレットのカメラで撮影し、電子黒板に映して内容の確認をする。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ここでグループを解体し、一人で机に向かう。</li> </ul>
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習内容を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面の展開や心情をとらえることの大切さを考えさせる。</li> </ul>	

(授業の様子)



↑ 内容を確認するために使った本文プリント

4コマ漫画を描かせた4コマ漫画プリント →



(生徒の反応と課題、改善を要する点)

授業で習った古典文法の知識を使って古文を現代語訳するだけでは、場面の詳細な状況や登場人物の心情をとらえさせることが難しい。今回のように場面の展開を漫画にして視覚的に提示することは、場面の状況や展開、人物の心情をとらえさせるにあたって有効であった。今後は、そのための事前準備をどのようにしていくかが課題である。